

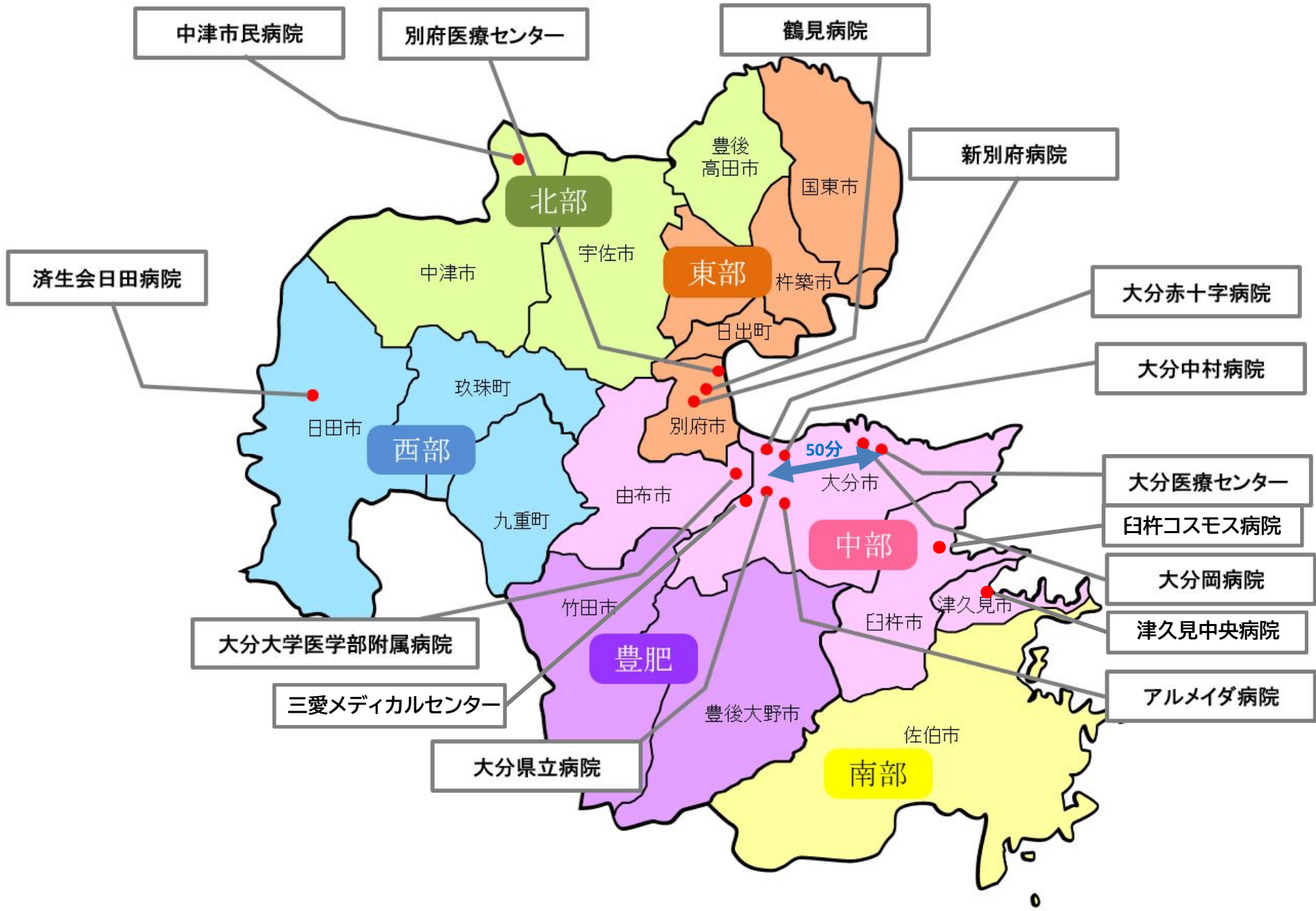
医療圏設定の趣旨(第8次大分県医療計画 第3章 第1節 2)

医療圏は、県民に適切な医療サービスを効率的に提供するため、**地理的条件、交通事情、日常生活の需要の充足状況**、行政の区域等を総合的に考慮しながら、日常的な医療から一般的な入院医療、特殊な医療に至る医療サービスを提供する地域的単位として段階的に設定するものです。

二次医療圏設定の考え方(医療法施行規則第30条の29第1項)

- ・地理的条件等の自然的条件
- ・当該圏域の面積
- ・地理的アクセス等の社会的条件 等

を考慮して、一体の区域として病院及び診療所における入院に係る医療を提供する体制の確保を図ることが相当であると認められるものを単位として設定すること。



機関名 診療科目	大分大学医学部附属病院	社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター	大分県立病院	大分市医師会立アルメイ タ病院	大分赤十字病院	社会医療法人 恵愛会 大分中村病院	大分岡病院	独立行政法人国立病院 機構 大分医療センター	臼杵市医師会立 コスモ ス病院	津久見市医師会立津久 見中央病院
内科	内科	呼吸器内科	内科	呼吸器内科	呼吸器内科	内科	内科	呼吸器内科	内科	内科
呼吸器内科	呼吸器内科	循環器内科	呼吸器内科	循環器内科	循環器内科	呼吸器内科	呼吸器内科	循環器内科	呼吸器内科	心療内科
循環器内科	循環器内科	消化器内科	循環器内科	消化器内科	消化器内科	循環器内科	循環器内科	消化器内科	循環器内科	内科(循環器)
消化器内科	消化器内科	血液内科	消化器内科	消化器内科	腎臓内科	消化器内科	消化器内科	血液内科	消化器内科	外科
血液内科	腫瘍内科	腫瘍内科	血液内科	血液内科	神経内科	糖尿病内科	血液内科	腎臓内科	血液内科	整形外科
腫瘍内科	内分泌内科	代謝内科	腫瘍内科	外科	腎臓内科	腫瘍内科	腫瘍内科	神経内科	神経内科	小児科
腎臓内科	神経内科	内分泌内科	内分泌内科	呼吸器外科	外科	糖尿病内科	外科	外科	外科	皮膚科
神経内科	内科(循環器)	腎臓内科	腎臓内科	消化器外科	心臓血管外科	腎臓内科	腎臓内科	呼吸器外科	消化器外科	泌尿器科
呼吸器外科	外科	神経内科	新生児内科	乳腺外科	整形外科	神経内科	心臓血管外科	整形外科	整形外科	耳鼻咽喉科
心臓血管外科	呼吸器外科	新生児内科	外科	整形外科	脳神経外科	脳神経外科	外科	消化器外科	脳神経外科	リハビリテーション科
消化器外科	心臓血管外科	呼吸器外科	呼吸器外科	脳神経外科	形成外科	心臓血管外科	乳腺外科	乳腺外科	リウマチ科	放射線科
乳腺外科	消化器外科	心臓血管外科	心臓血管外科	形成外科	腫瘍外科	消化器外科	整形外科	整形外科	皮膚科	気管食道・耳鼻いんこう科
小児外科	乳腺外科	消化器外科	消化器外科	リウマチ科	皮膚科	整形外科	整形外科	泌尿器科	リハビリテーション科	呼吸器科
脳神経外科	整形外科	整形外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	脳神経外科	脳神経外科	婦人科	放射線科	消化器科
形成外科	脳神経外科	小児外科	脳神経外科	泌尿器科	婦人科	形成外科	形成外科	リハビリテーション科	麻酔科	循環器科
精神科	形成外科	整形外科	形成外科	産婦人科	眼科	胸部外科	胸部外科	放射線科	内分泌・糖尿病内科	肛門科
アレルギー科	リウマチ科	脳神経外科	腹部外科	眼科	リハビリテーション科	皮膚科	皮膚科	病理診断科	-	胃腸科
小児科	泌尿器科	形成外科	小児科	耳鼻咽喉科	麻酔科	リハビリテーション科	麻酔科	麻酔科	-	-
皮膚科	リハビリテーション科	精神科	皮膚科	リハビリテーション科	腎臓内科(人工透析)	放射線科	放射線科	膠原病内科	-	-
産婦人科	放射線科	リウマチ科	泌尿器科	放射線科	消化器内科(内視鏡)	病理診断科	病理診断科	糖尿病代謝内分泌内科	-	-
眼科	救急科	小児科	産科	病理診断科	-	救急科	-	-	-	-
リハビリテーション科	麻酔科	皮膚科	婦人科	救急科	-	麻酔科	-	-	-	-
放射線科	大腸・肛門外科	泌尿器科	リハビリテーション科	麻酔科	-	歯科	-	-	-	-
病理診断科	-	産科	放射線科	産科	-	矯正歯科	-	-	-	-
救急科	-	婦人科	放射線治療科	矯正歯科	-	歯科口腔外科	-	-	-	-
児童精神科	-	眼科	病理診断科	歯科口腔外科	-	肛門科	-	-	-	-
麻酔科	-	耳鼻咽喉科	臨床検査科	内分泌・糖尿病内科	-	腎臓内科(人工透析)	-	-	-	-
歯科口腔外科	-	リハビリテーション科	救急科	血管外科	-	消化器内科(内視鏡)	-	-	-	-
内分泌・糖尿病内科	-	放射線科	麻酔科	-	-	糖尿病・代謝内科	-	-	-	-
腎臓外科・泌尿器科	-	病理診断科	消化器内科(内視鏡)	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	-	臨床検査科	緩和ケア内科	-	-	-	-	-	-	-
整形外科・リウマチ科	-	救急科	血管外科	-	-	-	-	-	-	-
神経小児科	-	麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科	-	歯科口腔外科	-	-	-	-	-	-	-	-
病床数	618床	190床	614床	406床	340床	260床	203床	285床	180床	120床
常勤診療科数	34	22	31	23	25	15	13	13	-	-
標榜診療科数	34	23	34	32	28	20	29	21	16	17
常勤医師数	434.4	37	178.4	70.1	76.6	29.3	48.4	38.9	18.5	10.8
常勤病棟看護師数	492	121	355	304	218	133	180	158	98	59
救急車受け入れ台数 ('21.7.~'22.6.)	1557	1871	2275	2375	1476	1825	1921	1284	1045	656
人口			308800				108612(観音・大岡)	57600 (大分・津久見・津久井)	34000	15000

大分中部医療圏内における医療体制の偏在について

- 中部医療圏は東西に広いが、急性期総合病院は人口密度の高い大分市西部(旧市街地とその周辺)に集中している。一方、大分市東部地域(大在、坂ノ市、佐賀関)は二次医療圏の中では遠隔地の一つであるが、救急医療体制や常勤診療科数、急性期病院の職員数、回復期病床数などの医療供給体制が弱く、医療の自給率が高くはない。すなわち西部地域の病院を受診せざるを得ない地域住民が多いのであるが、地理的アクセスが悪いため、高齢者や家族等にとっては大きな負担となっている。臼杵市、津久見市の医療供給体制は、大分市東部地域よりさらに弱いと思われる。
- 二次医療圏内の地域医療構想を計画するに当たり、中部医療圏をひとくりにして、平均的に見て判断するのでは、医療圏内での地域間格差が拡大する結果になると思われる。医療圏内の各地域の実情を十分に分析した上で、できる限り地元で医療を受けられる体制を作れるように、定期的に検証していただきたい。